

全 教

実教部NEWS

第114号

2019/11/1 発行

全国学習交流集会報告

第28回全教実習教員部全国学習交流集会が8月24日～25日の2日間、22組織から高等学校・障害児学校の教職員63名が参加し、北海道札幌市「定山溪グラウンドホテル瑞苑」で開催されました。

昨年から引き続き「やっぱeね！」のテーマのもと、5つの分科会に分かれてレポート発表、情報交換をおこないました。また、昨年好評だった「青年教職員支援塾」を今年も開設、北海道定山溪温泉街を散策し、美味しい

ものを食べながら交流を深め、翌日は北海道高教組の皆さんの協力のもと「しゃもじ作り体験」をおこなうことができました。今年は青年教職員の参加が多く、世代を超えた交流をおこない充実した学習交流集会となりました。



- 「 e1 ecology (普通教科と実験・実習教育)」
- 「 e2 education (職業教育と実験・実習教育)」
- 「 e3 especially (障害児教育と実験・実習教育)」
- 「 e4 essential (教科外教育と実習教員運動)」
- 「 e5 enjoy (なした青年教職員支援塾)」

e1 ecology ★アイデア満載実験室 … レポート提出は2本、延べ参加者数は21人

大阪高の西村麻子さんから「渡り廊下で理科実験」昨年6月大阪北部地震で校舎が被災、使用できない実験室の代わりに渡り廊下を使って実験した経験を報告されました。兵庫高の池田千晶さんから「私が楽しい科学と人間生活」実験中心の科学と人間生活の授業を、教諭と一緒にとりくんできて、どこまで実習教員がするべきものなのか考え参加者と議論したいと報告されました。

2本のレポートと参加者全員からの思いを時間の許す限り発言・交流し、それぞれが現在の仕事内容の課題を整理しなおす良い機会になりました。求めるものに正解はまだ見つけられないが、今おかれている立場の中で目の前にいる生徒たちに何を伝えていき



いか、何をつかんでほしいのか、その後生きる力を身につけさせたい。この思いを基本として学習的効果・教育的効果を信じ、今後も実験・実習教育の求めに応じて前向きにとりくむことの大切さを話し合い、準備や後片付けについても教員とのコミュニケーションをとりながら仕事を進めていくための先を見据えた意見交換ができました。

e2 education ★専門教科の課題を探る・・・レポート提出は2本、延べ参加者数は22人

青森高の佐藤陽さんから「ドローン製作について」電子科の生徒とともに科目「課題研究」の題材としてドローン製作をおこなった過程を報告。ドローンは海外の材料などを使用すると、7万円程度で製作することが可能ですが、関係する法令が多く外で飛行させることが難しいことや、プロペラを使用しているため怪我などに注意が必要なことなど、課題が多く報告されていました。北海道高の小林弘昌さんから「実習助手から実習担任教諭へ」実習助手に採用されてから30年が経ち、工業の実習だけでなく校務分掌、部活、学科の中での仕事などこれまでの経験を報告していただきました。転勤で赴任しても初めは何もできなかったことや、実習助手から実習担任教諭になってからのこと、これまでおこなってきた実習の内容やペアの先生とのコミュニケーションをとる難しさや、実習助手の在り方についても報告されました。

2日目は資格取得や各学校で課題について話し合いました。また、今年採用された若い先生にこれまでの感想や悩み事などについて話していただき交流をしました。職業教育でも「課題研究」の内容や予算に話が及ぶなど各県の状況や課題について話し合うことができました。

**e3 especially ★共通理解は大事です！・・・レポート提出は2本、延べ参加者数は23人**

北海道高の中村修一さんから「五角箸の製作体験活動について」として、高等養護学校における五角箸の体験的のものづくりから、木育や外部の人とのコミュニケーションについて工夫された活動が報告されました。また、教材として使われている標本木を見せていただき、治具を使った五角箸作りも体験しました。

同じく北海道高の坂井敦智さんから「函館養護学校における実習助手の業務について」として、校外活動では取り残されるのに校内ではひとりで散策の介助や給食の準備や片付けをしていること。学校教育法に示されている「実習助手は、実験又は実習について、教諭の職務を助ける」について、養護学校における職務の適用範囲はどういうことなのか？として、疑問について参加者の意見交換がおこなわれました。

障害児教育に関わる先生方がほとんどで、レポート内容以外に、通級の現状、進路状況、呼称などについて、参加者それぞれの立場で意見を述べることができ大変盛りあがった2日間でした。

**e4 essential ★制度改革を考える…………レポート提出は2本、延べ参加者数は24人**

愛知高の仲幸秀さんは実習教員部独自に教員採用試験のための情報交換会を計画し、事前のアンケート集計から過去問と回答、面接練習をおこない、更に情報交換会参加後のアンケート結果などを細かく報告されました。また、愛知県の現状や専門部交渉、組織拡大のとりくみ、実習教員の待遇に関するアンケートの集計などの実践が紹介されました。

同じく愛知高の吉田等さんからは、愛知県が実施する教職員免許法認定講習について、

実施要項が公開された後に、特定の1講座について高等学校が取得対象免許状から除外され、受講申請した教員が申請を取り下げる事態になり、現場で混乱することになった経緯を報告されました。

この2つのレポートから各組織の組織拡大のとりくみ、教員採用試験について、教員採用の現状報告、理科担当教員の待遇や2級格付けの認定講習、期限付きの任用教員の待遇などについて



情報交換がされました。

2日間の日程でおこなわれ、決められた時間では足りないくらいの問題がありましたが、最後には、今回情報交換したものを各組織に持ち帰り、今後のとりくみに役立てることにしました。

e5 enjoy ★なした青年教職員支援塾 …… レポート提出は1本、延べ参加者数は20人

1日目は開催地である北海道・定山溪温泉街を紫陽花とコスモスに見守られながら、おいしいアイスクリームを食べつつ散策し、最後に温泉卵を作ってみみんなで食べました。その後、岐阜の梅木えりかさんのレポートの発表と交流をおこないました。内容は岐阜でおこなわれている「採用試験対策の取り組みについて」で、筆記試験の対策や模擬面接などを試験日までに5日間もガッツリおこなっている様子が報告されました。

2日目は、北海道高・実教部長の筒淵隆一さんの指導の下、北海道産の木「栓（せん）」でしゃもじ作り体験をおこないました。ほとんど作っていただいていたおかげで、参加者は最後の磨きと焼き印を体験しただけでしたが、紙やすりなどをかけて磨いていくうちに手触りが変化していくのを肌で感じる事が出来ました。

昨年度から始まった青年支援塾ですが、昨年度参加された青年の方が、新しい青年の方を連れて参加されている姿を見て、青年の先生方の輪が和になっていくのを感じることができました。

2日間、素敵な笑顔でいっぱいのお5分科会でした。



今年は、地元・道高教組共済会の更科専務理事から「教職員賠償責任共済」などについて、実習教員にとって身近な実験・実習などを例にあげて紹介しました。冒頭、「総合共済へ加入している方、手を挙げてください！」と確認したところ、ほとんどの方が手を挙げ、実習教員の中に「全教共済」が広がっていることがわかりました。

参加者からの感想でも「共済の方の話も、知らない事を学べて本当に良かったです」「とてもわかりやすくお話をいただいて、良かったです。もっと早くこの話を聞いていれば必ず入っていたと思います。のこり約10年、今から入っても遅くはないのかな・・・」などの声があり、北海道では3名の加入がありました。

来年度は実習教員にあった全教共済のセットも提案してもらえればと思いました。





各ブロック学習交流会の開催状況

- 北海道・東北ブロック・・・全国学習交流集会開催につき今年度は開催なし
- 関東・甲越ブロック・・・(7月28日～29日) 埼玉：川越市
- 北陸・中部・東海ブロック・(10月19日～20日) 富山：富山市
- 近畿ブロック・・・(11月23日～24日) 和歌山：和歌山市・海南市
- 中国・四国・九州ブロック・(8月10日～11日) 香川：宇多津町・丸亀市



**どの子にもゆきとどいた実験・実習教育実現のため
教育諸条件の回復・改善は急務です。
制度改革実現を展望し、「署名」のとりくみをすすめましょう**

- ◎実習教員部役員の方を中心に学習・討議をかさねましょう。
- ◎署名用紙・推進ビラ・討議資料などは、全教HP実習教員部のページに掲載しています。
http://www.zenkyo.biz/modules/senmonbu_torikumi/top.php?senmonbu_id=99 まで
- ◎署名提出の中央行動は **2020年2月**です。
- ※前日は、第31回全教実習教員部定期総会が開催されます。
つきまして、総会と中央行動の両日ご参加をお願いします。

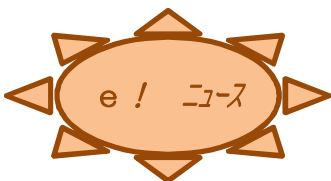
昨年度の署名集約数は・・・

個人署名 17,834筆 団体署名 561筆 (2019.4.19現在)



昨年度も前年度に引き続き、
各組織・他団体からたくさんの署名にご協力ありがとうございました。
今年度も、私たちの熱い思いを行動に表し、全国の仲間とともに頑張っていきましょう！

全教共済からお知らせ



秋募集
はじまったよ！

- 火災共済
- 生命共済
- 医療共済
- 傷害共済

募集期間 **11月30日**まで 全教共済

月々わずか **600円** 全教共済

退職時には掛金が全額戻ります！

総合共済

結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付

毎月加入できます

ありがとう30周年
仲間とともに

30

全教共済 全教